健康いちばん

ろっこう医療生活協同組合　2011年 9月号
神戸市灘区水道筋6−7−11／TEL. 078−802−3424／発行人：村上 正治／編集：広報委員会
●組合員数／19,349人 ●出資金金額／495,730,000円 ●平均出資額／25,587円（2011年8月26日現在）

2011年 生協強月間スタート

地域のきずなを築き、組合員2万人を実現しよう！

9月〜11月 組合員ふやし目標 純増500名（年間目標の5割）

現在ろっこう医療生協の組合員は、19300名を超えたところです。地域の絆、ネットワークをさらに強くするため、今年こそ、組合員2万人を突破したいと取り組みを進めています。たまり場づくりやけんこうクラブ活動、健康づくりにご家族、お友達やお知り合いをお誘い合い、ろっこう医療生協の組合員になってもらいましょう。

■健康づくり、たまり場づくり、けんこうクラブふやし

灘区、中央区、東灘区にある地域の会館や住宅の集会室、地域福祉センターなどを使って、骨粗鬆症チェック、ピロリ菌チェック、血液さらさらチェックを実施いたします。お近くの会場へぜひお越し下さい。また組合員でない方にぜひご参加お誘い下さい。

組合員が自由に出入りできるサロンのような取り組み＝たまり場は、健康体操や小物作り、そろばんで脳トレ、茶話会、健康チェックなど行いながら、楽しく交流を続けています。現在、二宮神社と灘区福住通3丁目の民家で実施しています。健康チェックや認知症予防に取り組む班会、フラダンス、コーラス、書道、囲碁、絵てがみ、卓球、パソコンなどなど、共通の趣味を通して、けんこうクラブも活動中です。

※健康チェックやたまり場、けんこうクラブの日程は、各ブロックニュースやホームページなどでお知らせしています。

■東灘区で初めての組合員集会室開設

東灘区の組合員さんが長年待ち望んでいた「東灘組合員集会室」（仮称）がこの秋開設します。昨年から、主な組合員で、場所探し、組合員総訪問、アンケート活動などを取り組んできました。開設してからは、お祭りや、血液さらさらチェックなどの健康チェック、セラバンド体操、趣味のサークルなど、組合員が自由に使える空間として、活用していきます。

民家をお借りして、新たに始まった“たまり場”（灘区福住通）「そろばんで脳トレ」スタート

組合員集会室開設に向け、組合員総訪問で意見集約
楽しい取り組みたくさんしましょうね

月1回、HAT神戸で健康チェックを実施

■組合員拡大運動

まずは、ご家族、ご親戚を！

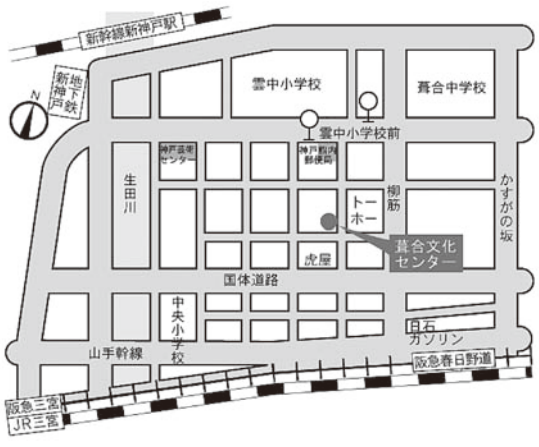
生協への加入は、あくまで〝個人〟としての加入です。同居家族には、組合員の特典や事業の利用は認められていますが、医療生協への関心を高め、もう一歩生協運動への参加を促すために、組合員の皆様のご家族も組合員になってもらいましょう。

お友達、お知り合いも

お友達、趣味の仲間、ご近所仲間などに、ろっこう医療生協の組合員になってもらい、一緒に健康づくりの輪を広げていきましょう。

I LOVE しののめ

東雲診療所 開設10周年 みんなで祝おう会



●と　き　**10月1日（土）11時30分〜14時**
●ところ　**葺合文化センター 大ホール**
神戸市中央区旗塚通4-4-1
■交通アクセス　阪急「春日野道駅」下車、徒歩約7分
神戸市営地下鉄「新神戸駅」下車、徒歩約8分
市バス90・92系統「雲中小前」下車、徒歩約3分
タクシー（三宮）から約6分

●参加費　1,500円（食事代を含む）
※参加費は当日会場で申し受けます。
つり銭のないよう、ご協力をお願いいたします。

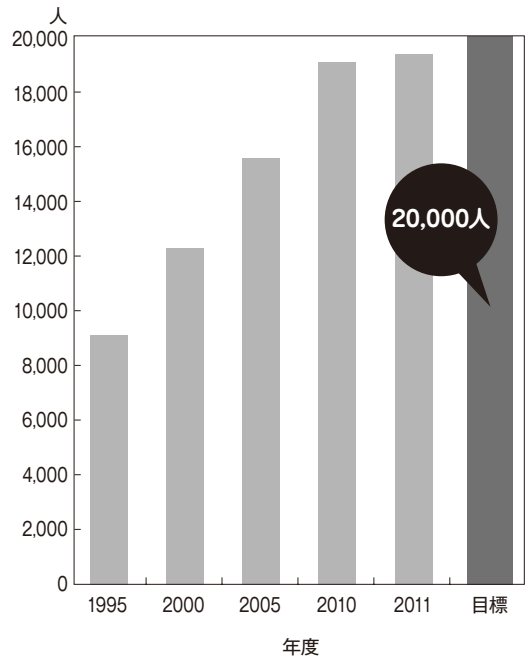
●内　容
＊オープニング
（映像で振り返る10年の歩み）
＊主催者あいさつ
＊来賓あいさつ
＊乾杯・昼食懇親
＊みんなでお祝い！出し物♪
＊お楽しみ抽選会
＊みんなで合唱

組合員さんであればどなたでも
ご参加いただけます。
お知り合いの方も
お誘い合わせてご参加下さい！

●申込み
現在受付中
定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めにお申込みください。

お申込み、お問い合わせは
ろっこう医療生活協同組合
電話　078-802-3424（本部）

1995年度以降の組合員数の推移



いきいき虹の人
～私と医療生協～

一王山早朝登山が今年で5千回を達成。ご夫婦合わせて1万回のおしどり賞を受賞されました。

上山　和子さん（東灘支部）

『いきいき虹の人～私と医療生協～』では、毎月一人一人の組合員さんにスポットをあてて、その人の魅力やユニークなエピソードをご紹介していきます。ご期待ください。

～あまりなじみはなかったけれど～

医療生協には震災よりも前に加入していたと思います。組合員拡大のお願いで地域を回って来られたんです。その時は、加入したと言っても医療生協にはまだなじみはなかったですね。機関紙が届いていただけで。

震災で家は全壊で、夏までは御影小学校の避難所に、その後4ヶ月ほどは西区の仮設住宅に入りましたが、年末になんとか自宅が再建でき戻ってきました。

～一王山に行って～

平成8年になってから、一王山の毎朝登山に行くようになりました。誰かに誘ってもらったのだったか、ぼちぼち行き始めたんです。その頃主人も仕事が再定年になり、一緒に平日も詰めて登れるようになりました。

一王山へは朝5時過ぎに家を出て、5時45分ごろに着きます。6時からラジオ体操をした後、主人は掲示板の参加名簿に当日参加された方たちの記録印を押してまわり、私はその間詩吟クラブに参加して声出しをしています。最初に詩吟を始めたのは家の近くのマンション集会室で詩吟教室があって、それに誘ってもらったのがきっかけです。詩吟はしたこともなかったんですが、もう10年になりますね。一王山の朝吟会には、主人がその記録係をしている時間に参加したら?と誘われてまだ2年ほどです。ここはいろんな流派やキャリアの方たちがいて、そこでいろんな話も聞けるし勉強になります。高齢の方からは戦争の時の話も聞いたり。練習にしても、山だったら気兼ねなく大きな声が出せますしね。

～山に来られてる人は元気～

私思うんですけど、山に来ている人はみんな元気です。会話があるのが元気の素?と私は思ってるんですけど。山でお話してると、朝ここに来なかったら人と話す機会もないしね、とおっしゃる方もいます。

山まで行って、ハンコもらって署名して、記録をつけることも元気の秘訣なのかも。そこに目標があるから。たとえば医者から歩けと言われても、目標や目的がないとなかなか続かないと思いますし。

私、4年前にリウマチになりまして足の手術をしたんです。だけど、山へまた行きたいという気持ちもあって、こうして元気になれました。手術後、最初は2号線から山手幹線まで上がり、次は阪急の線路まで、と1年近くかけて少しずつ歩く距離を伸ばしていきました。ようやくまた山まで行けるようになって、「上山さん、元気になって本当に良かったね。一王山のおかげね。」と声をかけてもらいます。

無理をしてはいけないんですが、やはり適度な負荷もかけていかないといけなくて、その点ではラジオ体操が全身をまんべんなく動かす運動なので体にいいんです。

～お店を続けるのは～

昭和33年から父がここでタバコ店を始めました。今はこんな時節なんでお客さんは減って暇な時もありますが、ご近所のお年寄りがお話する場としても開けています。切手を買いに来た方に、良かったら中にどうぞと招いたら「何日かぶりに人と話したわ。」と言う方もいました。そうしたら主人も「コーヒーでも入れましょか。」とね。だいたいいつでも誰かいるような感じです。

隣近所の方ともなじみで「おかず作りすぎたからどうぞ。」とか、「母が1人なんでお願いします。」とか、そんなお付き合いも続いています。

～今は医療生協も～

加入した当初は医療生協にもなじみがなかったと言いましたが、一王山に行くようになってからは、いろいろ活動されていることを知りました。月に1回体脂肪を測定してもらうようになってから、組合員のお友達にバスツアーに誘ってもらって参加したり、近くの御影公会堂で健康チェックがある時には時間があれば寄せてもらったり。

主人も定年後ボランティアをしたり、今は地域の老人会やグラウンドゴルフ、一王山のパソコンクラブ、と家でじっとしていない元気な人です。これからもやはり元気で長生きして、2人揃っていつまでも山に行きたいねえ、と話しています。

四季のカルテ
「急病センター診療譚」

六甲道診療所医師・所長
谷口　敏光

お盆休みの8月15日に書いています。

昨日（14日）はHAT神戸にある「こども初期急病センター（以下センター）」出務の日でした。

2カ月に1回程度が、今回は運よく?お盆休みの真ん中。まあ、どこに行く予定もなく、今日、実家の淡路に日帰りでいってきたくらいです。

◆待望の切れ間のない初期救急

昨年末にこの小児一次救急施設は稼働し始めていますが、神戸市内にはこれまで、大倉山と西区学園都市に休日診療所があり、夜間は閉まっておりました。その空白時間をうめるべく、このセンターは、休日は朝8時半から翌朝6時半まで連続、平日は夜間から早朝まで稼働しています。当番の医師は大学病院など医師も担当しますが、神戸市内の小児科開業医の先生方できりもり。私も、小児科専科の医師ではありませんが、少しばかり担当してきました。なお、ここができるにあたって、大倉山の小児科部門は閉鎖されています。

センターの建物は2階建で、周りを日赤病院や人と未来防災センターなど大きな建物に囲まれ、小じんまりしていますが、中のスタッフは充実しています。休日は最低2診体制で、正月やゴールデンウィークの繁忙期は3診以上で、4時間交代の当番医は案外、落ち着いて診察できます。

昨日は患者さんも少なめで、夏枯れ？　まあ、救急がヒマなのは悪くない話なのでしょうが、お盆ということで、結構県外の方も少なくなく、中には札幌から来たという人もいました。

この施設の目玉といえるのが、トリアージ（緊急性による識別対応）と看護師による電話相談です。

◆トリアージ

センターへ行くとオリジナルの電子カルテで、日ごろ使い慣れた診療所の電子カルテから、気持ちを切り替えないといけません。患者さんはセンターにはいって、まずはトリアージ担当の看護師が問診をして、「緊急」「準緊急」「非緊急」の振り分けをされます。その振り分けが、診察室の電子カルテの受付一覧に、赤、黄、緑の色分けで表示され、診察順を決定しながらすすめていくという仕組みです。感染性疾患で隔離が必要な場合は別の診察室が用意されていますが、この規模にしてはそれが少ないような気もします。紙のカルテのように、カルテをもっていって、そこで診察ということが、電子カルテでは簡単にはいかないのかもしれません。熱があるから隔離ということではなく、発疹などがでる病気だけで、インフルエンザなどは普通に待合室で待ちます。インフルエンザの検査は診察前に、看護師の判断で済ませてしまうこともあります。

さて、診察医ですが、看護師の問診があるとはいえ、基本は問診を医師が手入力ということで、身体診察までの時間はキーボードをうちなれていても、結構時間がかかる印象です。あまり混んでいなくても、4時間はあっという間にすぎてしまいました。

◆電話相談

処置室では点滴ベッドもたくさんあって、処置をまちかまえている看護師の数も半端ではないですが、昨日はゆったり。ときどき、相談の電話があるようで、看護師が病状を聴いて、「まあ、家で様子みてください」という対応もちらほら。急いで来なくてもいいことを伝えているようでした。もちろん、看護師も自分の名前をきかれ、名乗っておりましたし、勤務交替があっても、引き継いでおくことも伝えて安心をしてもらっていました。

◆処方は1日分

これだけの、施設があると、安心ではありますが、処方は原則1日分。年末年始やゴールデンウィークの例外はあるのですが、お盆休みはその例外適応にはあたりません。暦どおりの救急体制です。とは言っても、15日前後はお休みされている開業医は多いですね。今年の場合は「14日（日）に1日分の処方で15日月曜日はどこか病院へいってください」と伝えるのですが、かかりつけの小児科はほとんど閉まっていて、開いているのは病院小児科ぐらいで、苦しい説明をもとめられた一日でした。

◆まだまだ厳しい小児医療

このセンターだけをみたら、充実しているようにみえますが、小児科医療全体をみれば、どこも厳しい所ばかりです。縮小や閉鎖を余儀なくされている所が後をたたない現状です。

その上に、今、須磨の高台の阪神高速に近い県立こども病院の移転の話が問題になっています。ポートアイランドの中央市民病院の隣という案には驚きます。

私の出身の淡路島、島民の命の砦ともいえる県立病院の移転先が、もとは高速道のインターチェンジに近い高台のはずだったのが、昔の鐘紡があったウォーターフロントに変更されてしまいました。水害に遭った記憶も新しい海抜0メートル地帯にどうしてもってくるのでしょう？　だれのための市民病院、県立病院なんやと、つぶやきながら、昨日の当番を無事終えて帰ってきました。

組合員のみなさまへ

東日本大震災・支援活動募金 つばさ募金

支援活動募金は
ろっこう医療生協の
支援活動に活用されます！

目標 200万円

大船渡市の健康管理支援活動

7月～年内いっぱい

年内いっぱいをめどに毎週保健チームを派遣し避難所・仮設住宅での健康管理支援活動を行っています。現地への交通費などに使わせていただきます。

大船渡市健康管理支援行動８月25日（木）は医学生インターンシップ。神戸大学医学部の学生さんが行動に参加しました。

バスで13時間の移動のあと、翌日には陸前高田でガレキの撤去作業、その翌日に医療生協の行動に参加という強行日程にもかかわらず、合気道部、剣道部、柔道部という武闘派医学生３人組はパワー全開。近藤師長から血圧測定の手ほどきをうけ、元気に仮設住宅を訪問しました。

避難生活で治療が中断していて血圧が高くなっていた方にお話を聞いたり、仮設住宅での生活での困り事を聞いたりしながら、被災地の課題や地域での医療、保健活動を肌で感じる良い経験になったインターンシップでした。

近藤師長から血圧測定の手ほどきを受ける医学生

地域医療インターンシップに参加した永江さん、西久保さん、吉田さん（左から）

募金の受付は

生協本部および各診療所で受け付けています。
郵便振替もご利用ください

●口座名義：ろっこう医療生活協同組合
●口座番号：００９４０－２－２９６８７

通信欄に「東日本大震災つばさ募金」と記入してください。東日本大震災の支援行動についてはホームページでも随時お知らせしています。

http://www.rokko-mcoop.or.jp/

神戸に到着した一行を迎えて、なだ組合員集会室で歓迎会。マスコミがたくさん来て、子供達は緊張気味？

王子プールで、ぷかぷかリフレッシュ！

神戸においでよ！福島っ子プロジェクト

8月5日～8月8日

原発事故で外での活動時間が制限されるなどストレスの多い生活を強いられている福島の子供達を神戸に招いてリフレッシュ。そのための交通費などに使わせていただきます。

住吉の「アトリエ太陽の子」を訪問、神戸の子ども達と「自画像」を描き、さらにＴシャツに図柄を描き、それをプレゼントされました。

８月６日（土）、神戸市灘区のシマブンホールにて、「福島原発事故と日本のエネルギー行政」をテーマに、元京都大学原子炉実験所教員の岩本智之氏を講師に迎えて、原発セミナーを開催。参加者は１２０名で、熱心にお話を聞かれ、様々な角度からの質問が出されました。合わせて、福島中央市民医療生協の橋本氏より、現在福島市民は日常生活の面で様々な不便や不安を感じ、特に子供達には大変厳しい状況であることが紹介されました。最後に、水道筋商店街で活躍するグループ「なだふぃー」の演奏で終了。当日はカンパが２６，７１５円集まりました。ありがとうございました。

医療生協の介護サービス④

ホームヘルプサービス あおぞら

このコーナーでは知っているようで知らない
医療生協の介護サービスについてご紹介していきます。

水道筋近辺を車椅子を押している青色のユニフォームを見かけたことはありませんか？時には障害のあるお子さんと手をつないで歩いている事もあります。それは私たち「ホームヘルプサービスあおぞら」のメンバーです。

メンバーは元気いっぱいの熟年女性が中心の十九名ですが、三十歳の女性も、料理の得意な男性ヘルパーもいます。

灘診療所斜め裏の医療生協センター３階の事務所から、自転車やバイクでさっそうと（？）高齢者等、ケアの必要な方々のお宅を訪問しています。掃除、洗濯、買い物、調理などの日常家事全般から、通院などの外出介助、入浴や食事の介助、オムツ交換などの身体介護まで、ご本人のご希望や状態に沿ってご本人ができにくい事を援助するのが私たちの仕事です。おひとりおひとり生活スタイルも、今までの人生経験も違うので、ヘルパーの価値観を押し付けることなく、その人その人に合わせた援助を心がけています。例えば、お料理の時の野菜の切り方ひとつも人によって違います。時々、ヘルパーの事を何でもしてくれる『家政婦』さんと勘違いされている方も居られるのですが、「ご一緒にお願いします」とか「教えていただけますか？」とお声掛けして、できることはして頂くようにしています。実際、人生の先輩方に生活の知恵やら、人生訓など、いろいろと教えて頂けるのもヘルパーにとっては勉強にもなり、楽しみにもなっています。

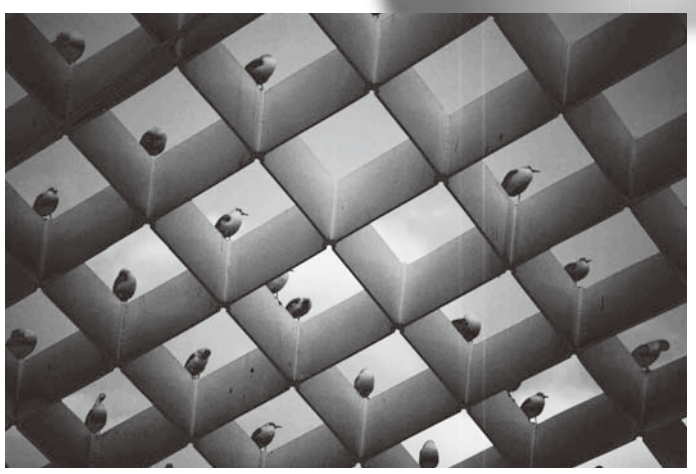
最近は認知症の方が増えているのですが、ヘルパーはいつも接しているので、家の中の事もその方の行動パターンもよく知っており、探し物を見つけたり、外出先を探し出したりもできます。ご本人もヘルパーの名前は分からなくても青色のユニフォームと、落ち着いた声かけで安心感を持って頂いています。

「あおぞら」も、立ち上げからもう十年以上になり、十年選手のベテランヘルパーも居ます。これからも診療所の先生をはじめ、ナースやデイなどの他部門の介護職の方とも連携して、より行き届いたサービスをお届けして、地域の方に愛される事業所を目指したいと思います。

ホームヘルプサービスあおぞらのスタッフ

虹のギャラリー

一休み
安積茂（中央支部）
神戸中突堤
ポートタワー前の通路を歩いていて、
ふと見上げると、屋根にはかもめの一団



読者のおたより　～数独パズル・サポーターズアンケートから～

●四季のカルテで小西先生の「原発震災と健康」を読んで本当に原子力の怖さを改めて確認しました。日本は被爆国なのに安易に核を取り入れすぎています。一日も早く脱原発となることを願っています。（灘区楠丘町 F）

●福島第一原発の近くにお住まいの方々は、子の代、その次の代までも心配が消えず、本当にお気の毒だと思います。記事にもあるように今回の事故が例外中の例外だなど考えず、そのほか地域の原発施設でも決して事故がおきないように対策すべきだと思います。（灘区高羽町 Y）

●とががわの機能とボランティアさんの活躍が紹介されていて、船寺に安心空間があることに心強く思います。数独で楽しく脳を鍛えています。（灘区鶴甲 K）

●身近な医療機関からも、震災の被害地に多くの方が支援に行かれていると記事を読み、大変尊敬の念でいっぱいです。どうか健康に留意して頑張ってください。（灘区灘北通 M）

●数独大好き。頭の体操に良い。（中央区東雲通 M）

●東日本大震災支援活動続けておられご苦労様です。福島の子どもたちを招かれるとのこと。子どもたちは喜んでくれる事でしょう。（中央区神仙寺通 S）

●いろいろな興味深い記事の中、おすすめメニューをすぐに作ってみたくなりました。（灘区鶴甲 N）

医療福祉生協連の機関紙「虹のネットワーク」をご活用ください

医療福祉生協連はろっこう医療生協も加盟する、医療・福祉事業を行う生協の全国連合会です。医療福祉生協連が発行する機関紙が『虹のネットワーク』。部数の関係で全組合員の方にはお届けできていませんが毎月発行される『虹のネットワーク』は各診療所には置いています。「放射能」「熱中症」など時期に応じた情報が読みやすく掲載されていますので診療所にお立ち寄りの際はぜひお持ち帰りください。

40歳～74歳のみなさまへ　特定健診を受けましょう

神戸市国民健康保険にご加入の方（ろっこう医療生協の診療所で受診できます）
必要な物：神戸市国保発行の受診券。受診券は誕生月ごとに分けて発送されます。
費用：600円または300円、65歳以上は無料

神戸市国保以外、社会保険の方（ろっこう医療生協の診療所で受診できない場合がございます）
ご加入の健保発行の受診券をご確認ください。医療機関が指定されている場合があります。
受診券の発行、費用等についてはお勤め先やご加入の健康保険組合等にお問い合わせください。

9月～2月　後期高齢者健診　費用：無料
実施期間：9月1日から2月28日まで
対　　象：後期高齢者医療保険加入者の方（医療中を除く）、受診券が届いている方
内　　容：問診、診察、血圧、身長、体重、検尿、血液検査

特定健診の内容
問診、診察、血圧、身長、体重、腹囲、検尿、血液検査（脂質、代謝系、肝機能、腎機能）
必要な方は心電図、貧血、眼底検査

おすすめメニュー　熱中症予防メニュー

●豚肉の梅風味生姜焼き
●枝豆入り切干大根煮
●青菜の磯辺和え
●ごはん
●みそ汁

エネルギー	545kcal
たんぱく質	21.8g
脂質	17.2g
炭水化物	71.9g
塩分	3.8g

豚ロース薄切り	3枚
塩	少々
こしょう	1ふり
酒	小さじ1
玉ねぎ	中1/4
土生姜	うす切り1枚
練り梅	少量
こいくち醤油	小さじ1.5
みりん	小さじ1
上白糖	少々
キャノーラ油	少々

《テーマは熱中症予防》
熱中症の予防には、日々の疲労を蓄積させず元気のもとであるビタミンB群をしっかり摂ることです。
豚肉や枝豆にはビタミンB1が豊富に含まれており、疲労を回復する力に優れています。
また、適度な塩分の摂取も必要になります。
梅の塩分と豚肉のパワーで夏を乗り切りましょう！

【資料提供】ウオクニ株式会社　（灘診療所の給食業務等を委託しています）

数独にチャレンジ！

【ルール】
①あいているマスに1～9までの数字のどれかをいれます
②タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線でかこまれた3×3のブロック（9マスのブロックが9つ）のどれにも1から9までの数字がひとつずつ入ります。
③全部の数字が入ったら　問題の足し算を解きましょう。

5	7		9		8	1		4
	Ⓐ	1		4		9	3	
4	9		1	3				7
8			2		1	3		9
	3	5		Ⓑ		7		1
7		9	3		4		8	6
1			6	8		Ⓒ	9	
	6		4		3	8		
3	8	4		9	7		1	2

Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ＝(　　)

前回の答え
19（Ⓐ:5+ Ⓑ:6+ Ⓒ:8）

●ハガキにクイズの答えと「健康いちばん」をお読みになった感想、住所・氏名・電話番号・年齢を書いて送って下さい。
●**送り先**／〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11 ろっこう医療生活協同組合「健康いちばん係」まで
●**締切日**／9月末日
※正解者の中から抽選で5名様に図書カード500円分を送ります。

第三回理事会報告

《二〇一一年八月二七日》

一．**東日本大震災支援活動の件**
大船渡市での被災者健康管理支援行動について
8／6「原発セミナー」の結果と今後の課題について
「神戸においでよ！福島っ子プロジェクト」について
今後の支援募金および財政活動について
報告集会〈第2回〉の予定について
「さよなら原発 1000万人アクション」の呼びかけについて
二．**2011年度生協強化月間方針の件**
三．**東灘組合員集会室の開設の件**
四．**秋期の活動課題の件**
2011年度通信教育の受講者について
9、10「組合員職員ときめき交流会」開催について
東雲診療所開設10周年イベントについて
出資金残高通知について
医療福祉生協連「24時間蓄尿塩分調査」について
五．**経営課題の件**
六．**その他の件**

出資金現在高通知送付のお知らせ

8月末の出資金現在高を記載した出資金現在高通知を9月の下旬に組合員のみなさまにお届けいたします。

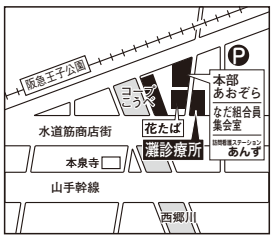
〈お問い合わせ〉
ろっこう医療生活協同組合
電話　802-3424

◆あなたの健康を守る医療生協のネットワーク◆　一般診察、健康診断、予防接種、訪問診察、介護保険のご相談などお気軽に最寄りの診療所まで

灘診療所

内科・消化器内科・糖尿病内科
整形外科・放射線科

通所リハビリテーション「つどい」
電話078-801-6665
神戸市灘区水道筋6-6-3
http://www.nada-cl.jp



入院随時（12床）

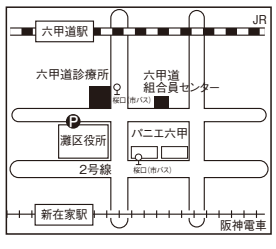
受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 2:30～ 4:30	○	○	○		○		
午後 4:30～ 7:30	○	○	○	○	○		

※日曜日と祝日は休診

六甲道診療所

内科
小児科

電話078-811-0555
神戸市灘区桜口町4-5-12
http://www.cl-rokkomichi.com/



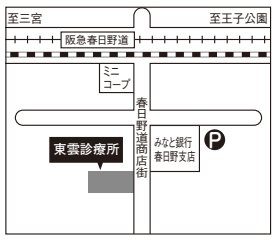
9ヵ月乳児健診〈予約制〉

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 7:00	○	○	○		○		

東雲診療所

内科・糖尿病内科
リハビリテーション科

電話078-262-7236
神戸市中央区東雲通1-4-24
http://shinonome-cl.jp/



〈介護保険事業〉ケアプラン
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーションなど

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 6:30	○	○	○		○		

ろっこう医療生活協同組合

〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11
TEL 078-802-3424　FAX 078-802-1649
URL:http://www.rokko-mcoop.or.jp/
e-mail nakama@rokko-mcoop.or.jp

お引越時は住所変更届をお願いします。出資金についてのお問合せや医療生協へのご意見、ご要望はこちらまで。

通所リハビリテーション	つどい	TEL.078-801-6711
訪問看護ステーション	あんず	TEL.078-802-3661
ホームヘルプサービス	あおぞら	TEL.078-805-1023
ケアプラン	医療福祉相談室	TEL.078-805-6877
小規模多機能	とががわ	TEL.078-414-7014